

氏名                     S.I                     学校名                     日本人学校 (3年) / インター校 (3年)                     学年                     

## 1. 進学先

入学	高校名 (コース名)	都道府県 (市)	一般枠/帰国枠/推薦	入試科目 (学科)	面接	小論文	合否
■	慶應義塾女子高等学校		一般・帰国・推薦		有・無	有・無	合・否

## 2. 試験の感想

- ① 試験全体を振り返って。
- ② 面接試験の傾向と感想
- ③ 小論文試験の傾向と感想
- ④ その他

(慶應女子)

試験は国数英と小論文です。3科目とも難易度は高かったです。

特に国語は文章も長く難しかったと感じました。

小論文については最初に箇条書きにして内容を整理すると書きやすいと思います。

(慶應湘南藤沢)

S F Cの英語はかなり難しく、特にリスニングの問題数が多いので、普段から耳をならず必要があります。

また、国語も知識を問う問題が思ったより難しかったです。

面接ではオランダ生活、趣味、高校で何をしたいか等、5－6問の質問を受けました。（英語と日本語）

（豊島岡女子）

意図が分かりやすい問題が多いので基礎力を着けることが重要と思いました。

出題数が多いので時間配分がうまく出来ず、全問解ききれませんでした。

### 3. 自分の受験勉強法

### 4. 学校生活の感想、アドバイス

中2で帰国し、半年は日本の生活や学校に慣れるのに精一杯でした。

中2の後半から学校の内申を意識するようになり、同時に本格的に受験勉強を始めました。

志望校の入試問題では応用を問われるので、ただがむしゃらに暗記するだけではなく、

本質を理解することに努めました。

### 5. JPPC での体験、感想

在蘭時に JPPC では数学と英語（準1級）の授業でお世話になりました。

英検準1級は在蘭時に取得できませんでしたが、江川先生からのアドバイスもあり、

帰国後も継続して勉強し中2の時に取得できました。

### 6. 後輩へのメッセージ

### 7. その他

今回第一志望校に合格できたのは、自分ひとりの力だけではありません。

今まで出会った JPPC と日本の塾の先生方、中学校の先生方、両親に感謝の気持ちを述べたいです。